

こいた 小板まきばの里通信Vol 8.2

～ 足跡から動物の行動を想像してみよう～

小板まきばの里へようこそ。小板まきばの里は西中国山地国定公園内の南に深入山、北に臥竜山で挟まれた標高750mの山里、小板集落の一角にあります。2018年11月にこの地に移住してきたスタッフ2名が60年以上前に住人がいなくなり荒地と化した耕作放棄地を、この土地の自然の恵みを活用しながら手作りで開拓しています。このキャンプ場ならではの豊かな自然と波乱万丈の開拓現場の探索をお楽しみください。

■キャンプ場周辺で冬の植物を探索しよう！



■里山の自然観察 ～足跡から動物の行動を想像してみよう～

雪が積もるとあちらこちらでいろいろな動物の足跡を見つけられるようになります。特に新雪が降り積もった翌朝は足跡を探す絶好のチャンス。吹雪の間じっと雪が止むのを待っていた動物たちが、狩りをしたり、食べ物を探したり、ねぐらに帰ったりした様子が足跡として残っています。特徴的な足跡として知られているのがノウサギの「止め足」。「止め足」はノウサギが寝床を突き止められないために使う目くらましの技で、進行方向から少し逆戻りをしてから大きく横っ飛びして足跡を途切れさせます。真新しい「止め足」を見つけたら近くでノウサギが寝ているかも。雪の上に残されたいろいろな足跡を探して動物たちの行動を想像してみましょう。

